

第17回 町田市市民協働フェスティバル 「まちカフェ！」実施報告書

2024年3月31日

作成:まちカフェ！事務局

(一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス)

目次

I. 実施目的と概要	P3－P7
II. 広報実施報告	P8－P13
III. まちカフェ！イベント報告	P14－P22
IV. 実行委員会等実施報告	P23
V. まちカフェ！オープンデー＆特別企画報告	P24－P25
VI. 学生おうえん隊実施報告	P26－P30
VII. ヒアリング報告	P31－P34

添付資料

- 【資料①】 第 17 回まちカフェ！イベント一覧
- 【資料②】 第 17 回参加団体・協力団体一覧
- 【資料③】 第 17 回実行委員会等開催実績一覧
- 【資料④】 第 17 回まちカフェオープンデー実績一覧
- 【資料⑤】 第 17 回まちカフェアンケート出展団体アンケート集計報告書
- 【資料⑥】 第 17 回まちカフェ！来場者アンケート
- 【資料⑦】 第 17 回まちカフェ！売上報告書

I. 実施目的と概要

1 事業名称

第 17 回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」

2 実施体制

主 催：第 17 回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」実行委員会
(以下まちカフェ！実行委員会)

共 催：町田市市民協働推進課

事務局：町田市地域活動サポートオフィス

3 事業の目的

- ・地域で活動する団体や個人が新しい事業や活動にチャレンジする。
- ・地域で活動する団体や個人がチャレンジを通じてスキルアップする。
- ・活動団体、市民、行政等が出会い、交流し、協働する。
- ・市民が地域の活動を知り、活動を始めるきっかけとなる。

4 開催概要

日時：2023 年 12 月 2 日(土)～12 月 10 日(日)

会場：市役所・市内各地の会場およびオンライン

主催：まちカフェ！実行委員会 共催：町田市市民協働推進課

テーマ：町田には+（プラス）がいっぱい 未来に×（カケル）新たな出会い

5 広報実施概要

これまでのチラシ配布、ホームページ・SNSでの情報発信に加えて新たな試みとして、町田マルイ前サイネージ広告（有料）と町田リバブルサイネージ広告（無料）及びまちカフェ！開始 30 日前からの＜Instagram カウントダウン投稿＞を実施した。また実行委員会役員の発案により、チラシを駅前で配布し、今までまちカフェ！情報をリーチしづらかった 20～30 代男女への PR を実施した。

詳細は、本報告書 P8-P13

6 まちカフェ！実施概要

(1) イベント

- ①開会式 12月2日（土）、9時50分から市庁舎のステージにて開会式を執り行った。
（市長挨拶、実行委員長挨拶、マチーダ楽団 Orquesta Machi-da による演奏）

②各団体主催イベント

- ・全期間合計 135 イベント（うち 2 件はハイブリッド開催）

内訳：市庁舎・市民ホールで開催 119 件（12/2 113 件、その他日程 6 件）

その他の会場で開催 16 件

協働で開催 16 件

詳細は、【資料①】第 17 回まちカフェ！イベント一覧

(2)来場者数

市役所会場（12/2）	7,571 名
12/2 以外の市役所展示	475 名
12/2 以外の市役所および市内各所開催イベント	487 名
	<u>合計 8,533 名</u>

7 まちカフェ！実行委員会・協力団体（別紙 資料①）

(1)実行委員会の構成

参加団体、おうえん隊(企画等を実施するボランティア)、事務局で構成される。

・構成内訳

参加団体 128 団体（うち冊子掲載 119、企画実施 110）、おうえん隊 10 名、学生おうえん隊 24 名、ワンデイおうえん隊 26 名+3 団体

事務局(町田市地域活動サポートオフィス)

・役員

実行委員長 内堀章子

副実行委員長 大月徹、広田悠大、前田知子

監事 東野至

(2)協力団体・個人

- ・ 広告協賛：16 団体/個人（40 口、188,000 円）
- ・ 場所提供・備品等提供：5 団体

詳細【資料②】第 17 回参加団体・協力団体一覧参加団体、協賛・協力団体一覧

8 実行委員会等開催概要

<開催実績>

- ・ 準備会 1 回（オンライン）
- ・ 実行委員会全体会議 3 回（6 月/対面、9 月/対面、10 月/対面）
- ・ まちカフェ！アワード表彰式・交流会 1 回（1 月/対面）

<その他>

- ・ 実行委員会メールマガジン配信 21 回

詳細本報告書 P23 及び【資料③】第 17 回実行委員会等開催実績一覧

9 まちカフェ！オープンデー概要

毎月原則第 1 木曜日、市役所 2 階市民協働おうえんルームにて地域活動のつながりの場「まちカフェ！オープンデー」を 4 月～3 月の期間 12 回開催し、のべ 327 名が来場。各種スキルアップ講座の他、参加団体による「Let's 協働タイム」を開催した。

詳細本報告書 P24-P25 及び【資料④】【資料④】第 17 回まちカフェオープンデー実績一覧

10 学生おうえん隊開催概要

25 名の大学生を 9 団体にマッチングし、イベントの準備や当日の運営支援を実施。フォローやサポートを町田市地域活動サポートオフィスと参加団体のへりぽーとが担った。

詳細本報告書 P26-P30

11 出展団体へのヒアリング結果概要

実行委員会参加団体のうち 10 団体にヒアリングを実施した。まちカフェ！を通じた「運営の中核メンバーの育成」が有効であることが共通した声として挙げた。また、新たにオープンデーの企画として実施した「Let's 協働タイム」は、「まちカフェ！に向けて試行実施する場として有効」という声があった。また、オープンデーや関連講座が平日日中に開催されていることで「参加しにくい」という声が多くあった。次年度以降開催時間帯を工夫していきたい。

詳細本報告書 P31-34

12 出展団体へのアンケート結果概要

出展団体 119 団体にアンケートを実施。回答数 93 団体

初参加の団体が 29 団体（昨年度 18 団体）と新規参加団体が増加し、全体の参加団体数も増加した。一方で、「協働が生まれた」、「協働していきたいと思う」という回答が、過去と比較して低下している点が今後の課題として見えてきた。

詳細【資料⑤】第 17 回まちカフェアンケート出展団体アンケート集計報告書

13 来場者へのアンケート結果概要

回答数:292 件

40 代～70 代の参加者については、各年代 14.4～18.6%と近似の割合となっており、一番多い世代は、70 代で 18.6%だった。20 代は 7.8%と、昨年（3.9%）の約 2 倍となった。また、「はじめてまちカフェ！に来場した」という回答が約 6 割にのぼり、新たな層へのアプローチもできたことからまちカフェ！の目的④が実現した。

詳細【資料⑥】第 17 回まちカフェ！来場者アンケート

14 総括

本年度は、まちカフェ！オープンデーの新企画として協働のきっかけづくりを目的とした参加団体の活動内容を知る「Let's 協働タイム」を実施。6 団体が活動内容の紹介をするワークショップを実施。まちカフェ！前に互いの活動を知る機会となった。直接的な協働事業の実現には至らなかったが、まちカフェ！に向けた準備の場として

有効だったという声が参加団体から挙がった。

広報活動では、若い世代の提案による「Instagram30日前投稿」、「サイネージ広告」などに新たに取り組み、来場者に20代が増加した。また、中学校の授業や東京ホームタウンプログラム「地域参加のトビラ」事業などまちカフェ！が地域活動を体験するプラットフォームとして活用される例が増加した。一方で、参加団体の協働意識は、低下傾向にある。コロナ禍を経て、市役所会場での出展が再開し、参加団体も増加したことから自団体の出展への関心に意識が集中していること、対面による実行委員会全体会議の参加人数の増加により協働について意識醸成する時間が減っていることが要因と考えられる。次年度以降改めてまちカフェ！の目的共有をすすめたい。

Ⅱ．広報実施報告

1 目的と背景

まちカフェ！の開催情報を今まで以上に広く市民の方へ広報することを目的に、新たな紙媒体への掲載や街中のサイネージ広告等を実施した。新施策により、市街地で集中的にまちカフェ！の認知を広げる一助となり、今まで開催情報を届けづらかった20～30代の市民の方への認知を強化することができた。

<今年度の新しい試み>

①街中でのサイネージ広告の実施

- ・町田マルイ前デジタルサイネージ広告（有料）
- ・東急リバブル町田センター前サイネージでの掲示（協賛により無料）

②まちカフェ！開始30日前からの<Instagram カウントダウン投稿>

③まちカフェ！実行委員会役員の発案による駅前でのチラシ配布

④新たな紙媒体への露出

- ・まちだ観光 news

⑤キービジュアルやまちカフェ！ロゴを参加団体は自由に使えるよう、まちカフェ！ホームページ内に図版を展開

<今年度のキービジュアル>



第17回 町田市市民協働フェスティバル 第17回 町田市市民協働フェスティバル
「まちカフェ！」 「まちカフェ！」

<掲載・実施事例>



▲町田マルイ前デジタルサイネージ広告



▲東急リバブル町田センター前サイネージ広告



◀ Instagram カウントダウン投稿

②の取り組みに関しては、広報課とまちカフェ！実行委員会共通のハッシュタグ（#いいことふくらむまちだ）を付けて投稿しあう＜協働した PR 活動＞を実施することができた。

駅前でのチラシ配布 ▶

まちカフェ！実行委員会役員からの発案で11月22日（水）、出勤時間の7時半～8時、帰宅時間の17時～17時半に小田急百貨店1階出入口前の歩行者道路で実施。約500枚を配布した。

その他、「2023年度生涯学習センターまつり」、「第11回キラリ☆まちだ祭2023」、「ミニまちだ」での告知活動を実施した。



2 実施(掲載)実績

媒体名	掲載日・号	発行部数
広報まちだ	5月15日 11月15日	各約10万部
ショッパー	11月11日	81,700部
タウンニュース町田	11月24日	約22万部
まちだ観光ニュース	11月26日	2000部

媒体名	掲載日・号	発行部数
号外 NET 町田市 https://machida.goguynet.jp/2023/11/26/machicafe/	11 月 26 日	—
ポスター（A1 サイズ）掲示	11 月下旬～	町田マルイ・モディ掲示板：6 枚 小田急町田駅掲示板：1 枚
まちカフェ！クリアファイル （裏面が広告のため制作費ナシで実現）	10 月下旬～	1,000 部
町田市ホームページ	随時	—
町内会の掲示板	11 月中旬	約 2,000 箇所
サポートオフィス通信	9 月-2 月号	各 1,500 部
まちカフェ！イベントチラシ	—	23,000 部
まちカフェ！協働ガイドブック	—	1,000 部
町田マルイ前デジタルサイネージ広告	11/26-12/3	15 秒×1,120 回再生
東急リバブル町田センター前デジタルサイネージ掲示	11/26-12/3	—
まちカフェ！専用ホームページ	随時	—
まちカフェ！公式 facebook	随時	—
まちカフェ！公式 Instagram	随時	まちカフェ！開催 30 日前より 毎日カウントダウン投稿を実施
まちカフェ！公式 twitter (X)	随時	—
サポートオフィスホームページ	随時	—
サポートオフィス facebook	随時	—
サポートオフィス Instagram	随時	—
サポートオフィスメールマガジン	月 1-2 回ほど	—

※その他、参加団体の各広報媒体への掲載

<取材記事の掲載例>



▼タウンニュース：11月30日号

◀まちカフェ！の告知と共に、中面の<人物風土記>で実行委員長を取り上げていただいたことで、連動した告知ができた。

▼まちだ観光ニュース冬号



▼「まちカフェ！」イベントチラシ（事前配布用）

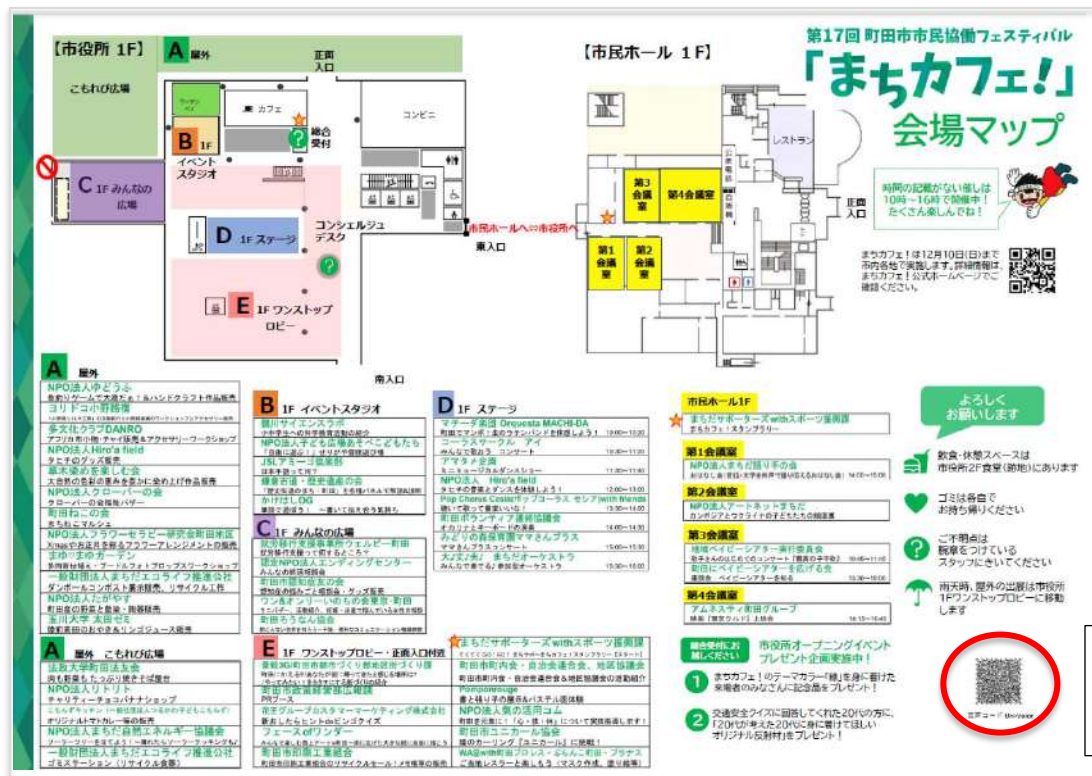
昨年度に引き続き十文字折加工、8面で情報掲載ができる判型を採用。100を超えるイベントを掲載するには誌面的に詳細情報を掲載できないため、次年度以降は、チラシPDFをスマホでみられる（＝拡大してみられる）ような取り組みも考えていきたい。

イベントチラシを市役所近隣小学校に全戸配布したこともあり、市役所会場にこのチラシを持参してきてくれた親子連れもいた。



▼12月2日 市役所フロアマップ（当日配布用）

当日は市役所（1階～3階＋議場）と町田市民ホール会議室1～4を会場に、100を超える催しが開催された。



参加団体であるブラインド IT サポート町田（視覚障害者のための iPhone 教室を開催するために設立された視覚障害者の団体）より、視覚障害のある来場者への配慮として音声コード「Uni-Voice：ユニボイス」（Uni-Voice コードにスマホをかざすだけで、印刷物の内容を読み上げてくれる iOS・Android 向けアプリ※）の提案を受けた。本年度はマップ両面に Uni-Voice コードを導入した。Uni-Voice コードが入っていることがわかるようにマップに切り欠きを入れる作業があるが、ブラインド IT サポート町田が担ってくれ事務局との協働事業の一つにもなった。

※Uni-Voice コードについて

<https://www.jw-s.co.jp/about-code/>

▼「まちカフェ！」協働ガイドブック

まちカフェ！参加団体同士の交流や協働のきっかけとなること、市内の活動団体情報を体系化し広く伝えることを目的に作成。今年度は119団体を掲載。

地域・市民活動団体を知っていただく一助となるよう公共施設への配布・配架を行った。また年間を通じて団体間交流や協働をする際の資料として活用してもらえるよう、参加団体へも5冊ずつ配布した。



<掲載内容>

- 冒頭コラム：町田市市民協働フェスティバル まちカフェ！× SDGs
- まちカフェ！参加団体紹介：今年度は新たに団体のキャッチコピーと各団体の活動が該当する SDGs 番号を掲載した。



▲冒頭コラム：団体が取り組む SDGs アクションも掲載



▲参加団体紹介ページ

Ⅲ. まちカフェ！イベント報告

1 目的と背景

コロナ下で蓄積したオンラインによる準備会や各種打合せのノウハウも活かしつつ、対面で会える喜びを再確認して、再開後 2 回目の町田市庁舎会場でのイベントには多数の団体が参加し、実行委員会へのエントリーも昨年度を上回る人数となった。参加団体数が増えることにより、会場配置や準備手順などの工数も増えたが、今年は特に事務局に頼りすぎずに参加団体同士で相談して、来場者に喜んでもらえるよりよいイベントを創り上げることを目的とした。別日程・他会場のイベントも大きな可能性を感じさせ、着実な前進の一步となった。

詳細【資料①】第 17 回まちカフェ！イベント一覧

2 イベント概要

12 月 2 日（土）～12 月 10 日（日）の期間に市役所および市民ホール会場にて 119 件、その他市内各会場にて 16 件（うち 2 件ハイブリッド開催）のイベントが実施され、全イベントのうち 16 件が協働事業となった。期間中、総計 8,533 名が来場した。

(1) 12 月 2 日（土）町田市役所・町田市民ホール会場イベント

再開後 2 年目となる市庁舎利用は、屋外を含む 1 階から 3 階（議場含む）まで、さらには市民ホールの会議室まで広げて使用する終日開催のイベントとしてにぎやかにまちカフェ！開幕を飾った。

心配されたお天気も気持ちよく晴れ、屋外出展も日照に合わせて場所を移せるなどゆったりと楽しめるスペースとなった。今年の屋内 1 階メインステージは、8 団体がほぼ絶え間なく登壇し、音楽や踊りで会場全体を盛り上げた。

今年はカラー刷りの会場マップを各階に貼ったり、多様な来場者に応えられるような工夫を施したりと、昨年度好評だったテーマカラーの緑を身に着けた来場者へのプレゼント企画も賑わいを見せた。

他日程も含めた複数イベントを開催する団体も見られ、期間を通してのまちカフェ！の楽しみ方の提案になった。

▼開会式（市長挨拶、実行委員長挨拶、マチーダ楽団による演奏）



▶ 1F 受付来場者プレゼント受付



▼屋外：お天気にも恵まれ、大盛況



▼ステージ：多様な音楽があふれた



▼市民ホール会場（アートネットまちだ「カンボジアとウクライナの子どもの絵画展」）



▼スタンプラリー受付（まちだサポーターズ実施）



(2) 12月3日（日）～12月10日（日）市役所・市内各地の会場開催イベント

今年も初日のオープニングイベントの後も開庁時間内に市役所 1 階みんなの広場に展示や相談会、2階市民協働おうえんルームにおいてのイベントが開催された。中には、期間前から町田駅近くの会場にて展示・上映会を行った後、市役所会場でも上映会・トークイベントを展開するなど、出展方法を工夫した企画も開催された。平日の市民協働おうえんルームでのイベントは、子育て層などから好評だった。

市内各地の会場でも、生前葬セミナーや参加団体内外からゲストを呼んでのトークイベントなど、団体の普段の活動拠点を活用した団体独自のイベントが開催された。特に屋外での活動団体のイベントが集中した 9 日（土）は、お天気に恵まれ、絶好のアウトドアアクティビティ日和となった。

▼東急リバブル町田センターでの展示・上映会（左）、市民協働おうえんルームでの上映会&トークイベント（右）の様子



▼平日市民協働おうえんルーム



▼市内の各地でも実施

みなさんの居場所ぼくはぼく



せりがや冒険遊び場



シバヒロ



町田市・相模原市でまち歩き



3 その他実行委員会の取り組み

(1) SDGs

協働ガイドブックの団体紹介ページには、自分たちが考える SDGs の取り組みを掲載した他、イベント内容、会場設備にも昨年より多くの SDGs を意識した企画が実施された

▼協働ガイドブック p.3,4



▲長谷川ミラ氏トークイベント『じぶんごととしてのSDGs』

長谷川ミラ氏ビジネス誌 Forbes JAPAN「世界を変える 30 歳未満」30 人 (Forbes 30 under 30 JAPAN 2022) に選出された、Z 世代のオピニオンリーダー。

▼ソーラーツリー & SDGs 講座



▼リサイクルステーション



◀生ごみはすべてコンポストでたい肥化

▼バリアフリーの情報発信を実施



▲NaviLens(ナビレンス：視覚障害者支援アプリ)も会場各所に掲示

(2) 会場装飾

市役所会場は、例年の布製ガーランド（過去の実行委員会で作成）に加え、歴代まちカフェ！で完成した 3 本の木のタペストリーを揃えて吊り下げるなど、まちカフェ！の歩みも感じられる装飾となった。昨年の経験を活かして、会場マップの拡大版を掲示し、各階のマップや案内掲示も改良を試みた。他にも入口付近に来場者に自由に使ってもらえるように設置したフォトブースや、まちカフェ！テーマカラーである緑を基調としたのぼり旗など、まちカフェ！を来場者に印象付ける装飾を行った。

▼ガーランドとタペストリー



▼フォトブース



▼のぼり旗



(3) 取材・ツアーなどの回遊の工夫

今年は、事前募集したボランティアによる市役所イベント取材 SNS 投稿の他にも、町田市内中学生による取材プロジェクトが遂行された。

また、東京ホームタウンプロジェクト「地域参加のトビラ」事業による出展団体のブースを回るツアーも行われ、詳しいスタッフによる説明が大変喜ばれた。今年は、参加団体によるスタンプラリーという形での回遊のしくみも出てきたが、まちカフェ！全体を回るツアーガイドのような機能を望む声もより多く聞かれた。

▼南成瀬中学校の生徒による取材の様子



▼東京ホームタウンプロジェクト「地域参加のトビラ」事業ツアーの様子



IV. 実行委員会等実施報告

コロナによる行動制限が緩和され、準備会のみオンラインで昼の部、夜の部を開催し、それ以外は、対面での全体会議を実施した。毎回 100 名近く参加する熱気のある雰囲気で行われた。市役所会場使用の混乱をさけるため早めの段階で時間をかけて説明し、希望者にはオープンデーなどを利用して会場下見を提供した。

特別企画として広報課と実行委員会の協働事業となった「長谷川ミラ氏トークイベント」については、事前に長谷川ミラ氏からメッセージ動画をいただき、理解が深まった。

参加団体からの希望による手話通訳を手配、また子ども連れの参加者もいて受容力のある実行委員会となった。

1 月 19 日(金)に開催した「まちカフェ！アワード表彰式＆交流会」は、市民協働おうえんルームにまちカフェ！SNS 投稿や南成瀬中学校の生徒の取材記事を掲示するなどまちカフェ！を振り返る場となった。

詳細【資料③】第 17 回実行委員会等開催実績一覧

▼全体会議＆アワード表彰式の様子



V. まちカフェ！オープンデー報告

昨年度から地域活動のつながりの場として開催している「まちカフェ！オープンデー」を今年も継続実施した。今年も、毎月１回（原則第１木曜日）、市民協働おうえんルームにて事務局（町田市地域活動サポートオフィス）のスタッフが終日対応し、まちカフェ！に関わることやその他通常の地域活動に関する相談に応じた。市役所職員も常駐しているので協働が進むことも多く、少しずつ認知度が高まり、オープンデーでの出会いからまちカフェ！出展へと結びついたケースも見られた。



また、オープンデーに合わせて各種特別企画を実施したのに加えて、今年は「Let's 協働タイム」と題して、まちカフェ！参加団体の普段の活動を知ってもらう時間を設け、団体同士の交流のきっかけとなった。４月～３月でのべ 327 名の参加となった。

さらに今年は、各地区へ出向いて出張まちカフェ！オープンデーを実施し、まちカフェ！および地域活動をサポートする仕組みの知名度向上を図った。

▼Let's 協働タイムの様子





▼オープンデー特別企画

- 4月6日 初心者さん向け Canva で作るチラシ講座
- 5月11日 SNS・オンラインツールなんでも相談会
- 6月1日 まちカフェ！に活かす SDGs 基礎講座
- 7月6日 Let's 協働タイム part①（色彩心理グリーンハートラボ、町田やさしい日本語の会）
- 8月3日 参加したくなるイベントちらし作り講座～基本のき～
Let's 協働タイム part②（景観 3G、まちいろドロップス）
- 9月7日 Let's 協働タイム part③（町田市ユニカール協会、まちだポールウォーキングクラブ）
- 10月5日 SNS・オンラインツールなんでも相談会
- 11月2日 まちカフェ！直前応援企画 文具貸出し&SNS 等使い方相談会
- 12月14日 まちカフェ！振り返り
- 1月11日 WAM 助成 応募相談会
- 2月1日 音声配信プラットフォームアプリ stand. fm 体験会
- 3月7日 能登半島地震支援チャリティー上映会&お話し会 in 町田

詳細【資料③】第 17 回実行委員会等開催実績一覧

VI. 学生おうえん隊実施報告

1 目的と背景

地域活動に参加してみたいと考える学生と、学生と一緒に活動してみたいと考える参加団体をマッチングし、まちカフェ！開催に向けて協働しながら活動に取り組むことを目的として 2020 年度より開始。

2 参加学生と受け入れ団体

・参加学生…25 名

(内訳:法政大学 2 年生 7 名・3 年生 2 名、和光大学 3 年生 4 名、青山学院大学 1 年生 1 名・3 年生 2 名・4 年生 2 名、相模女子大学 1 年生 1 名、日本女子大学 4 年生 1 名、東京農業大学 1 年生 1 名、高校生 4 名)

・受け入れ団体…9 団体

(団体名:鎌倉古道・歴史遺産の会、色彩心理グリーンハードラボ、ブラインド IT サポート町田、NPO 法人町田演劇鑑賞会、町田市ユニカール協会、NPO 法人目と心の健康相談室、町田ねこの会、WA 温、まちだサポーターズ)

3 実施スケジュール

2023 年	
4 月 10 日	学生おうえん隊・団体募集開始
6 月 26 日	学生×受け入れ団体マッチング会
7 月 11 日	受け入れ団体向け交流会
8 月 1 日～31 日	学生おうえん隊と各団体との初顔合わせ
9 月 27 日	まちカフェ！学生おうえん隊交流会
12 月 2 日～10 日	まちカフェ！イベント実施
2024 年	
2 月 17 日	学生おうえん隊ふりかえり会

4 実施内容

<マッチング会>6月26日(月)オンライン開催

当日は受け入れ団体9団体に3分ずつ団体の紹介や学生とやってみたいこと等を発表いただき、その後Zoomのブレイクアウトルーム機能を使って交流会を実施。交流会では、学生・団体がお互い気になることなどを質問しあう場となった。



▲マッチング会時の集合写真

<団体交流会>7月11日(火)オンライン開催

まちカフェ！学生おうえん隊を受け入れる団体同士の交流の場、不安解消の場として開催。6団体から11名が参加。昨年学生おうえん隊として活動していた成清氏にもアドバイザーとして参加していただいた。「ワクワク&モヤモヤ共有タイム」と題し、学生おうえん隊を受け入れるにあたって楽しみなことや不安なことを共有する場を設けた。初めて受け入れる団体が受け入れ2～3回目の団体のやり方を聞くなどお互い情報交換し合う場面が見られた。

<まちカフェ！学生おうえん隊交流会>9月27日(水)オンライン開催

まちカフェ！学生おうえん隊のプログラムに参加している学生同士の交流や活動の中での不安点などを解消することを目的とした交流会を実施。学生7名が参加。学生おうえん隊同士もまちカフェ！本番では他団体のイベントに参加できるという提案があり、LINEなどを活用した情報共有を充実させた。

<学生おうえん隊ふりかえり会>2月17日（土）町田市生涯学習センター

今年度実施したまちカフェ！学生おうえん隊の活動を振り返ること、学生・団体同士の交流を図ることを目的としたふりかえり会を実施。学生は9名、団体からは11名の参加があった。前半はアイスブレイクを兼ねてトークフォークダンスを実施。後半は、振り返りワークを実施。①活動内容、②活動でよかったこと、③もう一歩だったこと、④団体/学生へのメッセージをまとめて A3 用紙に記入し、それぞれ発表していただいた。



▲学生おうえん隊ふりかえり会の様子



▲顔合わせの様子

5 アンケート結果より

まちカフェ！学生おうえん隊に参加した学生(回答 11 名)、団体（回答 5 団体）に実施したアンケートについて、下記に特筆すべき点を記載する。なお、本アンケートはまちカフェ！学生おうえん隊の活動を通じて、参加学生・参加団体の協働がどれくらい進捗したかについて確認するとともに、普段とは異なる世代のメンバーと一緒に活動することで得られる効果を検証するために実施した。

実施期間 2024 年 3 月 1 日～3 月 7 日

実施方法 Google フォームを使用

・学生おうえん隊に対する満足度を「満足・どちらかといえば満足・どちらともいえない・どちらかといえば不満足・不満足」の 5 段階で回答する項目では、学生は満足 8 名（73%）、どちらかといえば満足 3 名（27%）、団体は満足 4 団体（80%）と学生・団体ともに満足する内容となっていた。

・参加学生の 64%は学生おうえん隊に参加する前は「NPO や市民活動団体の存在や活動は見聞きしたことがあるが、詳しく知らなかった」と回答しており、プログラムを通して NPO や市民活動について深く知る機会となったことが推察される。

・団体は学生おうえん隊を受け入れた感想（複数回答可）として、「学生おうえん隊に自団体の活動に対する想いや意義を伝えることができた」が 5 団体（100%）、「今後も活動に使えるツールが残った」、「学生おうえん隊を受け入れることで団体に良い効果があった」、「学生と楽しく協働することができた」がそれぞれ 4 団体（80%）という結果になった。団体にとって活動の伝え方やツール活用のスキルが上がるだけにとどまらず活動のモチベーションにもつながっていることが伺える。

<学生の感想（自由記述欄）>

・自分にお手伝い出来ることがあるのか不安でしたが、普段体験できないことをたくさん体験させて頂けてすごく楽しかったです！ありがとうございました！どのような形になるかはまだ分かりませんが今後も関わることが出来たら嬉しいです。

- ・初めての経験で慣れないことも多くありましたが、多くの人達が支えてくれたおかげでとても楽しく活動できました。また、この活動で自分自身を見つめ直すことができ、自分の長所と短所、今後の改善点などを知ることができました。この経験を糧にして、これからも自分をさらに高めるために精進していこうと思います。まちカフェ！という素晴らしい企画に参加できて本当によかったです。
- ・大学の残りの時間の中で新たな経験をしたいという思いから応募したのですが、今まで自分が知らなかった地域の方の活動を知れてとてもよかったです。

<団体の感想（自由記述欄）>

- ・今年で受け入れ 3 年目ですが、学生おうえん隊のメンバーから、団体のことを居場所の一つとして考えてくれているというご意見をいただき、嬉しく思っています。今年も積極的にとりくんでいきたいと思っています。
- ・ボランティア活動を理解して協力できる人間性を身につけられている学生さんを本当に素晴らしいと思います。
- ・当会メンバーにとって、学生おうえん隊とのコラボがとても良い刺激になっている。引き続きの事務局の支援を期待しています。

VII. ヒアリング報告

1 目的と背景

- ・まちカフェ！実施報告アンケート回答団体の内、初参加団体／複数回参加団体／協働事業実施団体／学生おうえん隊受け入れ団体からのアンケート回答結果の中で特に確認したい事項がある 10 団体を選択して実施。
- ・以下 3 点についての情報収集を目的として実施した。
 - ・自団体の活性化に向けて、まちカフェ！をどう活用したか
 - ・本年度のまちカフェ！についての感想
 - ・次年度以降のまちカフェ！に向けての提案

2 ヒアリング対象団体・日程

	開催日時 場所	団体
1	1 月 16 日・サポートオフィス	まちだアイ碁
2	1 月 23 日・オンライン	アートネットまちだ
3	1 月 24 日・サポートオフィス	まゆ♡まゆガーデン
4	1 月 25 日・サポートオフィス	絲子
5	1 月 25 日・オンライン	町田ねこの会
6	1 月 25 日・オンライン	D フレンズ町田・町田市高齢者支援課
7	1 月 26 日・オンライン	ワンデイおうえん隊
8	1 月 31 日・オンライン	手話サークルまちだ
9	2 月 2 日・サポートオフィス	まちだサポーターズ
10	2 月 14 日・市役所	景観 3G・町田市地区街づくり課

3 ヒアリング内容抜粋

団体運営のコツ

<まちカフェ！を通じた団体の活性化>
・まちカフェ！の企画を担当したい人をメンバー内で募集した。まちカフェ！を中核メンバー以外の方が企画運営に関わる機会にすることで、運営の中核メンバーを育成していくのが狙い。
・まちカフェ！では自団体の中で実行委員メンバーを決めて、そのメンバーが中心になって企画や連絡対応をしていた。
・まちカフェ！が一番大きいイベント。 <u>協力して展示物作ったり、当日販売したりPRしたりで絆が深まった</u> と思う。
・ <u>市との協働もまちカフェ！という枠組みがあることで、実施することができた。</u>
・自分たちの団体だけでイベントを実施するのであれば、任意団体でまだまだ団体の認知も低いので、ここまでたくさんの皆さんに来てもらうイベントができなかった。まちカフェ！に出ることは団体にとっての信頼度が上がると感じた。
・ <u>Let's 協働タイムでワークショップを試行的に実施し、検証した。</u> 参加者から好評だったのでまちカフェ！当日での実施に自信がもてた。流れや準備なども事前に小さくやっていたことで把握できた。
・ <u>Let's 協働タイムで経験の浅いメンバーが中心にプログラムを実施したことが自信につながり、まちカフェ！当日の担い手を増やすことができた。</u>
・まちカフェ！で他団体とコラボすることで長年思い描いていたことが少し実現できた。

・学生おうえん隊とは、はじめの顔合わせの時に呼び方(あだ名)を決めたことで良い関係づくりとなった。以前に学生おうえん隊を受け入れていた団体の話を聞いて参考にした。
<団体運営のコツ全般>
・「当事者のやりたいという気持ちを聞き逃さないで実現したい」という共通する想いが、プロジェクトの核になっている。
・プロジェクトメンバーは、同じ講座を受講している人が多い。<u>同じ講座を受講することで、目線がそろい、組織を越えたプロジェクトチームの継続性につながっている。</u>
・1人の中にあるやりたいことがだれかの困りごとを解決する＝誰もができるまちづくり
・組織を急に大きくしようとしない。
・<u>メンバーの勉強会など、一緒に学ぶ場は大事にしている。</u>

まちカフェ！への提案

・まちカフェ！に来る人は駅周辺の方が多い。市内全域に広げてほしい。
・他のワークショップを見る時間がなかったので参加団体がまわれる時間があると良い。
・今までに出展したことのあるイベントで、最後1時間をイベント出展者同士が買い物や交流する時間にしているイベントがある。他のブースを見るだけで勉強になると思う。
・<協働フェスティバル>というタイトルが、一般の方にはとっつきにくい。
・「一般来場者に多く来てもらう」、「団体間の協働を増やす」など、年度ごとの目的をたてても良い。実行委員会の第1回で年度の目的を議論できるとよい。

・今年、ホームページで資料を共有してもらえたのはよかった。資料共有はホームページに一本化したほうがよいのではないか。メール添付でも届くとどちらが最終版かわからない。
・実行委員会全体会議はオンラインでも対面でもどちらでもよい。対面のほうが話しやすい。
・平日日中、曜日が確定していると参加できないので、夜開催なども検討してほしい。
・実行委員会全体会議では出展場所同士で集まれてよかった。
・実行委員会全体会議は欠席者もいるので、出展場所ごとのミーティングを別日にオンライン等も活用して実施するのがよい。
・実行委員会に対するお手伝いをしたいなと思っていたのでチラシ発送作業ボランティアにも参加した。自分には何ができるだろうと考えて、やってみようと気持ちよく参加できた。
・1つの会議室を複数団体で使用したが、会議室の中などスペースが分からなかった。また、まちカフェ！当日に騒いでいいのかとかの話し合いができればよかった。会議室内も廊下同様養生テープでおおそのスペースがわかるように目印をつけておいたほうがよい。
・会場配置について特に強い希望がある団体はレイアウト図も提出してもらいたいのではないか。
・おうえん隊の説明会が日中で参加できなかった。平日夜開催もしくは、参加できなかった人向けに動画があってもいいと思う。
・初めて参加ということもあって手探りだった。配置や備品などなかなか理解できなかった。